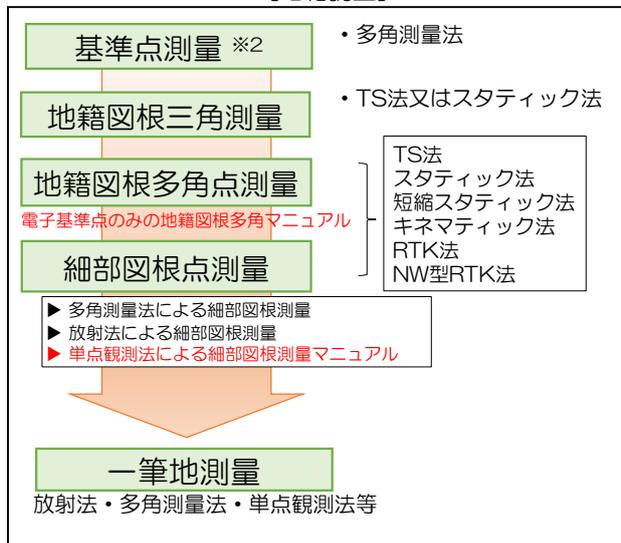
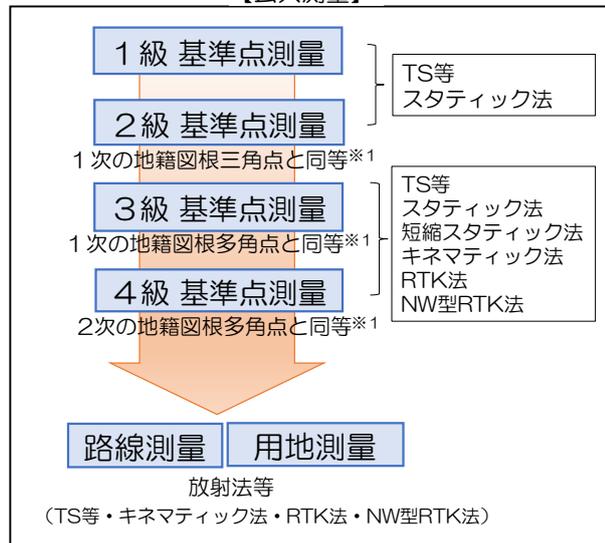


# 基準点の階層構造と基準点網の構成

- 作業規程の準則と地籍調査作業規程準則の現状比較 -

【公共測量】

【地籍調査】



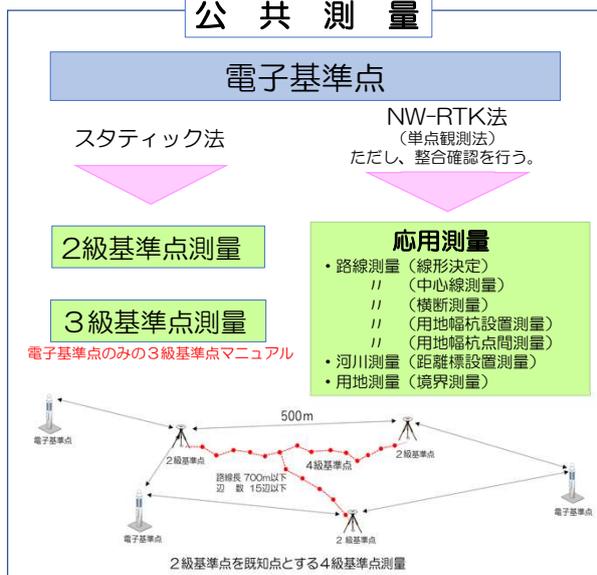
※1 地籍調査作業規程準則運用基準（基準点の精度）第19条の3による

※2 基準点測量作業規程準則（総理府令第51号）

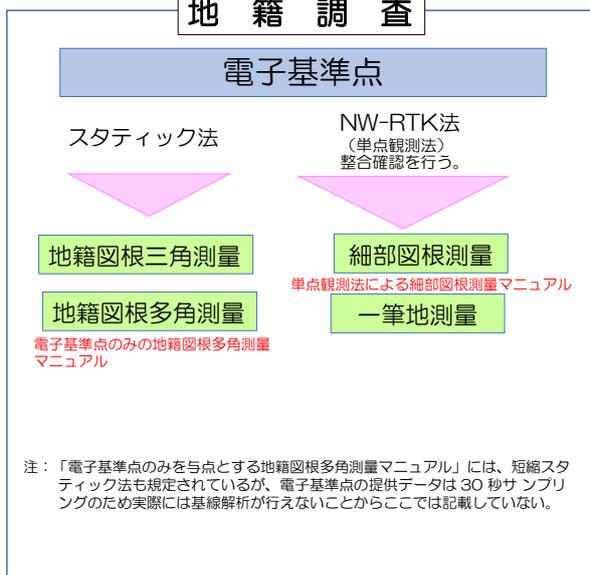
## 電子基準点のみを利用した測量の現状

（基準点測量・応用測量・地籍調査）

### 公共測量



### 地籍調査



「作業規程の準則」に定める区分の路線長等の標準

項目	区分	2級基準点測量	3級基準点測量	4級基準点測量
路線長		2km以下(5km以下)	1km以下	500m以下(700m以下)
新点間距離		500m	200m	50m
路線辺数		6辺	7辺	10辺(15辺)

「地籍調査作業規程準則運用基準」及び別表1に定める区分の路線長等の標準

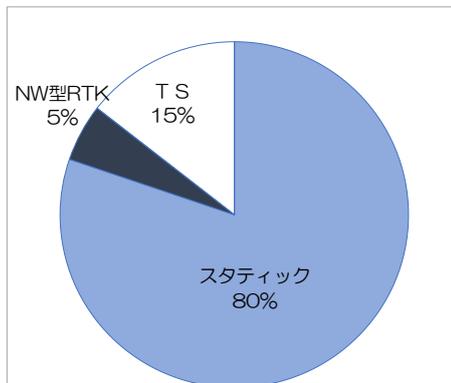
項目	区分	地籍図根三角測量	地籍図根多角測量		細部図根測量 (多角測量法)	
			1次	2次	1次	2次
路線長	TS法	2km以下	1.5km以下	1.0km以下	1km以下 閉合路線200m以下	
	GNSS法	5km以下 電子基準点のみ以外	1.5km以下	-	-	
新点間距離		500m (市街地及びその周辺)	30m以上 200m *1 (市街地及びその周辺)	30m以上	20m以上	
新点数		8点以下	50点以下 9点以下 *1	30点以下	50点以下	

\*1 電子基準点に整合の取れた地籍図根三角点等を与点とするGNSS法のみ点間距離及び新点数

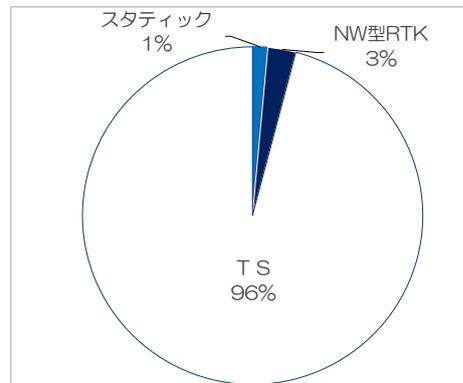
公共測量における基準点測量の現状

《公共測量に使用されている量方法》

令和2年度基準点測量成果検定における測量方法の状況



3級基準点測量(1,120件)



4級基準点測量(657件)

- 3級及び4級基準点測量のスタティックには短縮スタティックを含む
- NT型RTKにはRTKを含む

## 電子基準点を基礎とする新たな基準点の階層構造 階層構造のスリム化

《新たな公共基準点の階層構造は4階層から2階層》

### 1. 電子基準点を既知点とする基準点測量【現状の1級～3級に相当】

- ①これまでの新点間距離による区分はしない。  
→新点間の標準距離の検討。
- ②観測方法：1級GNSS測量機によるスタティック法  
→新たな精度管理基準の検討

### 2. 電子基準点に準拠した基準点を既知点とする基準点測量

【現状の4級に相当】

- ①路線長及び路線の辺数等の標準を設定。
- ②観測方法：TS、RTK法、ネットワーク型RTK法（単点観測法を含む）  
→単点観測法は試験観測及び精度管理等を十分検討  
→新たな精度管理基準の検討
- ③測量機器：2級トータルステーション、1級GNSS測量機